

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	環境都市4年	科目コード	47011270
科目名	心理学 Psychology				
担当教員	小林 淳				
単位数(時間数)	必修 後期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	「心」とは一体どのようなものなのか？人の「心」にかかわる学問として、心理学の研究領域は広範囲です。人の「心」をどう理解するのか、心理学はどのような考え方をしているのかを紹介します。授業を通して、目の前の人とどのように出会い、どのような「関係」にあるのか、相手だけでなく、自分自身をも見つめ、自分自身の「心」の在り様を敏感に感じ取り、どう関係していくのか、感性を育ててほしい。				
先修科目	現代社会				
後修科目					
備考	日頃より「こころ」(人間関係、心の健康など心理学の話題)に関心を持つこと。				
	授業項目	時間	内容		
1	心理学とその歴史(1)	2	心理学とは？その歴史、心理学の諸分野を概観できる。		
2	心理学とその歴史(2)	2	心の働きについて、身近な心理について概観できる。		
3	性格心理学 心と個性	2	性格・人格・気質、性格の成り立ちが説明できる。		
4	性格心理学(2)	2	類型論と特性論、ビッグファイブ理論を説明できる。		
5	性格心理学(3)	2	フロイトの人格論、ユングのタイプ論について説明できる。		
6	対人心理と社会心理(1)	2	社会心理学の展開について説明できる。		
7	対人心理と社会心理(2)	2	対人認知、対人関係、社会的態度、集団心理を説明できる。		
	後期中間試験				
8	知覚と認知の心理	2	形・空間・運動知覚、知覚のずれ、社会的認知が説明できる。		
9	欲求と動機の心理	2	欲求、動機づけ、フラストレーションについて説明できる。		
10	学習と記憶の心理	2	条件づけ学習、社会的学習、記憶について説明できる。		
11	心の育ち 発達心理学	2	発達とは何か、発達段階、生涯発達心理について説明できる。		
12	臨床心理学(1)基礎	2	心の葛藤と防衛のメカニズム、異常心理を説明できる。		
13	臨床心理学(2)実践	2	心の状態の自己チェック、心理アセスメントを説明できる。		
14	臨床心理学(3)実践	2	心理療法(カウンセリング、グループワーク)を体験的に学び、自己と他者の理解を深める。		
15	心理学の未来	2	心理学はこれからどうなるのか探究できる。		
	学年末試験				
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	心理学の諸分野を自ら体験的に学習し、日常の人間関係の中で、相手の「こころ」に自分自身の「こころ」で触れ、働きかける。そこでは何が起っているか、探究していく力を養い、説明できることで、学習・教育目標のA-1の達成とする。				
成績評価	2回の定期試験の成績(80%)と授業への取り組む姿勢(20%)との100点満点で、合計の6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする。				
教材	教科書：青木紀久代、神宮英夫編著 「カラー版徹底図解 心理学 生活と社会に役立つ心理学の知識」新星出版社 資料プリント配布				
オフィスアワー	授業の前後に対応します。緊急の場合は、中村博雄先生(一般校舎棟3F, e-mail: hiroo@nagano-nct.ac.jp)が対応します。				